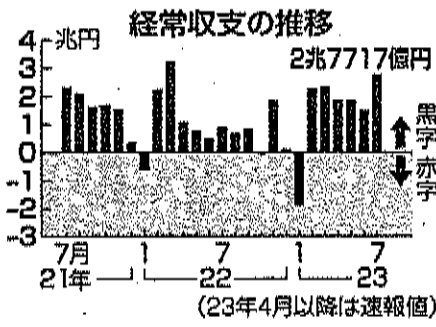


7月経常黒字 3.1倍

6カ月連続の黒字

財務省が8日発表した7月の国際収支速報によると、海外とのモノやサービスの取引、投資収益の状況を示す経常収支は前年同月



比約3・1倍の2兆7717億円の黒字でした。黒字は6カ月連続となり、比較可能な1985年以降で7月として最大。貿易収支の改善が経常黒字の拡大につながりました。

輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、前年同月の1兆1843億円の赤字から682億円の黒字に転換しました。輸出額は0・6%減の8兆5558億円。輸入額は石炭や原油、液化天然ガス(LNG)の

価格高騰が一服したことなどで減少し、18・3%減の8兆4876億円でした。貿易黒字は2カ月連続。輸送や旅行などのサービス収支は5355億円の赤字。旅行収支が比較可能な96年以降で最大となる3368億円の黒字になり、全体の赤字幅は縮小しました。

た。配当金や利子の収支を示す第1次所得収支は15・7%増の3兆5781億円の黒字と、7月として過去最大でした。海外の金利上昇に伴い、債券利子の受け取りが増加して証券投資収益の黒字幅が拡大し、全体を押し上げました。